

報道各位

No.19-000123T

2019年11月29日

ヒューマンタッチ株式会社

ヒューマンタッチ総研が独自分析 建設業主要各社の2020年3月期 第2四半期決算まとめと 今後の市場動向

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で、人材紹介事業を行うヒューマンタッチ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:高本和幸、以下「ヒューマンタッチ」)が運営するヒューマンタッチ総研は、総合工事業(ゼネコン)、土木工事業、電気設備工事業、管工事業、プラント・エンジニアリング業、住宅建設業の6業種に分けて、2020年3月期第2四半期決算から見る市場動向をまとめました。

【本件のポイント】

- ・6業種別主要上場企業各10社の2020年3月期第2四半期の決算から見る建設市場動向をまとめた
- ・プラント・エンジニアリング業を除く5業種は増収増益となった
- ・電気設備工事業と管工事業では主要10社すべて、ゼネコンと土木工事業では9社が増収で、利益面も好調

<全体概況>

■全業種で利益が増加、好調な決算が続く

2020年3月期の第2四半期決算(連結)の各業種主要10社の実績を合計すると、第1四半期に続いてプラント・エンジニアリング業を除く5業種は増収増益となり好調な決算が続いています(図表①)。また、純利益については6業種ともに大幅な増益となっており、6業種合計では前年同期比で41.5%増と大幅な伸びになっています。

【図表① 各業種主要10社の2020年3月期第2四半期決算(連結)の実績合計】

	2020年3月期第2四半期				傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
総合工事業(ゼネコン)	5,083,101	7.3%	285,218	8.4%	増収増益
土木工事業	683,065	7.5%	36,972	59.4%	増収増益
電気設備工事業	1,581,561	20.4%	58,707	25.2%	増収増益
管工事業	628,330	9.8%	21,886	115.1%	増収増益
プラント・エンジニアリング業	991,629	-2.4%	41,410	-	減収増益
住宅建設業	4,237,039	4.7%	223,973	6.8%	増収増益
合計	13,204,725	7.1%	668,166	41.5%	増収増益

* プラント・エンジニアリング業の前年同期の純利益は▲81,138百万円

以下、業種別に主要10社の決算を見ていきます。

<総合工事業(ゼネコン)>

■10社中9社が増収、うち7社が増収増益で、売上・利益ともに好調

堅調な民間設備投資や公共投資を背景に10社中9社が増収、うち7社が増収増益となっています(図表②)。非上場のフジタについても増収となっておりゼネコン業界全体で好調な決算だと考えられます。大手ゼネコン上位4社では、大林組、清水建設、大成建設の3社が増収増益で純利益は過去最高となっており、豊富な手持ち工事を順調に消化して利益を確保しています。鹿島建設は増収減益となっていますが、減益幅は第1四半期と比べて縮小しており、大手ゼネコン上位4社は好調な決算が続いていると言えます。そのような中、長谷工コーポレーションのみが、マンション工事の施工量減少による減収となり、前年同期に特別利益を計上した反動で純利益も大幅に減少しています。

【図表②】ゼネコン主要10社の2020年3月期の第2四半期決算(連結)の実績

企業名	2020年3月期第2四半期				
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	傾向
1 大林組	965,290	3.0%	56,813	16.4%	増収増益
2 鹿島建設	947,198	5.5%	49,810	-8.6%	増収減益
3 清水建設	834,850	14.4%	47,694	30.5%	増収増益
4 大成建設	766,414	8.8%	44,879	27.4%	増収増益
5 長谷工コーポレーション	414,234	-6.1%	30,168	-34.9%	減収減益
6 五洋建設	295,224	20.8%	12,073	11.3%	増収増益
7 前田建設工業	237,311	7.4%	15,894	33.7%	増収増益
8 戸田建設	235,365	15.9%	12,286	48.7%	増収増益
9 三井住友建設	211,006	10.1%	7,923	-10.1%	増収減益
10 安藤ハザマ	176,209	4.5%	7,678	310.8%	増収増益
合計	5,083,101	7.3%	285,218	8.4%	増収増益
ご参考					
フジタ(単体)	224,139	0.8%	2,669	-55.4%	増収減益

出所:各社の2020年3月期第2四半期決算短信より作成

*フジタについては非上場のため同社より取得した決算資料より作成

<土木工事業>

■10社中9社が増収、うち8社が増収増益、特に利益面での改善が顕著

10社中9社が増収、うち8社が増収増益となり、非常に好調な決算になっています(図表③)。

道路舗装大手5社のNIPPO、前田道路、日本道路、東亜道路工業、世紀東急工業はすべて増収増益となりました。また、基礎・地盤改良・法面など特殊土木を専門とするライト工業、不動テトラの2社も、自然災害からの復旧工事や官公庁発注の斜面・法面対策工事の増加により増収増益となっています。利益面を見ると、前田道路が前年同期比202.6%増、日本道路が同170.3%増、ライト工業が同130.5%増など、大幅増となっており、利益面での改善が顕著になっています。

【図表③】土木工事業主要10社の2020年3月期の第2四半期決算(連結)の実績

企業名	2020年3月期第2四半期				
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	傾向
1 NIPPO	190,022	9.8%	7,955	5.0%	増収増益
2 前田道路	108,703	10.8%	11,705	202.6%	増収増益
3 日本道路	66,307	4.7%	3,052	170.3%	増収増益
4 川田テクノロジーズ	61,007	9.8%	1,705	-27.4%	増収減益
5 東鉄工業	55,721	9.7%	3,041	23.3%	増収増益
6 ライト工業	48,000	4.7%	2,835	3.7%	増収増益
7 ピーエス三菱	47,758	-1.4%	1,470	27.9%	減収増益
8 東亜道路工業	41,047	6.9%	975	-	増収増益
9 不動テトラ	33,361	4.6%	1,609	19.9%	増収増益
10 世紀東急工業	31,139	4.9%	2,625	130.5%	増収増益
合計	683,065	7.5%	36,972	59.4%	増収増益

出所:各社の2020年3月期第2四半期決算短信より作成

*東亜道路工業の前年同四半期の純利益は▲562百万円

<電気設備工事業>

■10社すべてが増収、うち9社が増収増益で、業界全体として非常に好調

10社中9社が増収増益であり非常に好調な決算になっています(図表④)。減益となったのはユアテック1社であり、情報システム関連費用の増加が減収の要因となっています。

また、第1四半期では赤字決算であったユアテックと日本電設工業は黒字に転換しており、赤字決算の企業はなくなっています。

【図表④】電気設備工事業主要10社の2020年3月期の第2四半期決算(連結)の実績

	企業名	2020年3月期第2四半期				傾向
		売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
1	関電工	278,993	8.1%	9,936	6.3%	増収増益
2	きんでん	251,425	21.0%	10,225	31.9%	増収増益
3	コムシスホールディングス	243,024	36.6%	8,855	24.2%	増収増益
4	協和エクシオ	212,302	59.8%	6,275	6.4%	増収増益
5	九電工	195,870	18.6%	10,471	30.7%	増収増益
6	トーエネック	102,867	4.5%	4,357	113.1%	増収増益
7	ユアテック	90,266	0.2%	185	-82.1%	増収減益
8	住友電設	76,608	5.8%	4,434	18.8%	増収増益
9	中電工	75,073	19.2%	2,947	91.9%	増収増益
10	日本電設工業	55,133	15.3%	1,022	150.5%	増収増益
	合計	1,581,561	20.4%	58,707	25.2%	増収増益

出所:各社の2020年3月期第2四半期決算短信より作成

<管工事業>

■10社すべてが増収、うち9社が増収増益であり非常に好調な決算

10社すべてが増収、9社が増収増益と非常に好調な決算となっています(図表⑤)。唯一赤字決算となった日比谷総合設備も増収であり、赤字幅も前年同期より縮小しています。第1四半期に大幅な減収減益だった業界2位の大気社は、第2四半期では増収増益に転じ、中でも純利益は前年同期比で490.2%増と大幅な増益となっています。

【図表⑤】管工事業主要10社の2020年3月期の第2四半期決算(連結)の実績

	企業名	2020年3月期第2四半期				傾向
		売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
1	高砂熱学工業	145,457	5.7%	5,916	47.1%	増収増益
2	大気社	104,973	6.2%	5,371	490.2%	増収増益
3	三機工業	91,845	13.8%	2,485	212.2%	増収増益
4	ダイダン	78,917	13.3%	2,897	9.5%	増収増益
5	新日本空調	52,209	6.1%	979	98.6%	増収増益
6	朝日工業社	49,529	25.7%	1,570	15.2%	増収増益
7	テクノ菱和	29,674	8.4%	1,214	58.3%	増収増益
8	日比谷総合設備	28,578	6.2%	-140	-	増収赤字幅縮小
9	ヤマト	25,006	13.4%	1,376	41.6%	増収増益
10	大成温調	22,142	8.8%	218	-	増収増益
	合計	628,330	9.8%	21,886	115.1%	増収増益

出所:各社の2020年3月期第2四半期決算短信より作成

* 日比谷総合設備の前年同四半期の純利益は▲856百万円、大成温調は同▲940百万円

<プラント・エンジニアリング業>

■10社中4社が増収増益であり、利益は改善傾向

千代田化工建設、栗田工業、タクマ、レイズネクスト、4社が増収増益となっています(図表⑥)。業界首位の日揮は第1四半期に続いて減収減益となっていますが、通期の業績予想は変更していません。

【図表⑥プラント・エンジニアリング業主要10社の2020年3月期の第2四半期決算(連結)実績】

	企業名	2020年3月期第2四半期				傾向
		売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
1	日揮	218,354	-21.5%	4,474	-36.5%	減収減益
2	千代田化工建設	174,903	19.5%	4,788	-	増収増益
3	栗田工業	131,758	4.1%	13,490	133.6%	増収増益
4	東芝プラントシステム	116,625	8.0%	4,137	-41.3%	増収減益
5	東洋エンジニアリング	112,647	-23.8%	2,703	67.0%	減収増益
6	レイズネクスト	58,216	32.9%	8,327	240.0%	増収増益
7	タクマ	57,765	14.1%	3,130	3.2%	増収増益
8	太平電業	52,715	12.0%	1,701	-16.0%	増収減益
9	富士古河E&C	34,594	-9.3%	862	3.4%	減収増益
10	メタウォーター	34,052	15.3%	-2,202	-	増収赤字幅縮小
	合計	991,629	-2.4%	41,410	-	減収増益

出所:各社の2020年3月期第2四半期決算短信より作成

* 千代田化工建設の前年同四半期の純利益は▲108,606百万円、
メタウォーターは同▲2,368百万円、純利益合計は同▲81,138百万円

<住宅建設業>

■10社中4社が増収増益、赤字決算企業は減少し業績はやや改善

大和ハウス工業、ミサワホーム、ミサワホーム中国、サンヨーホームズの4社が増収増益となりました(図表⑦)。業界2位の飯田グループホールディングスは、第1四半期は減収でしたが、第2四半期については増収に転じ、減益幅も縮小しています。

増収企業数は第1四半期の5社から7社に増加、赤字決算企業数は5社から2社に減少しており、全体的にやや改善してきています。なお、業界トップの大和ハウス工業の住宅建設における業績を見ると、戸建てが売上高239,665百万円で前年同期比1.5%増となった一方、賃貸住宅が503,219百万円で同4.3%減となっており、住宅建設関連の売上高はやや伸び悩んでいます。

【図表⑦住宅建設業主要10社の2020年3月期の第2四半期決算(連結)実績】

	企業名	2020年3月期第2四半期				傾向
		売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
1	大和ハウス工業	2,179,389	9.9%	147,390	12.1%	増収増益
2	飯田グループホールディングス	657,075	4.6%	30,454	-4.6%	増収減益
3	住友林業	529,748	-10.6%	12,591	18.4%	減収増益
4	積水化学工業	556,515	0.3%	29,633	-9.0%	増収減益
5	ミサワホーム	209,317	11.0%	3,062	20.3%	増収増益
6	フジ住宅	51,136	-4.3%	1,287	-24.6%	減収減益
7	サンヨーホームズ	23,782	16.4%	34	-	増収増益
8	ミサワホーム中国	13,194	26.5%	45	-	増収増益
9	細田工務店	8,731	-7.9%	-266	-	減収赤字幅拡大
10	アールシーコア	8,152	38.7%	-257	-	増収赤字幅拡大
	合計	4,237,039	4.7%	223,973	6.8%	増収増益

出所:各社の2020年3月期第2四半期決算短信より作成

* サンヨーホームズの前年同四半期の純利益は▲344百万円、ミサワホーム中国は同▲320百万円、
細田工務店は同▲217百万円、アールシーコアは同▲216百万円

■ヒューマンタッチ総研所長・高本和幸(ヒューマンタッチ代表取締役)のコメント

2020年3月期第2四半期の建設関連主要企業の決算結果を見ると、電気設備工事業と管工事業では主要10社すべてが増収、ゼネコンと土木工事業では9社が増収となるなど、堅調な公共投資と好調に推移する民間の設備投資や、東京オリンピック・パラリンピック関連の工事等を背景に好調な決算になっています。プラント・エンジニアリング業と住宅建設業では厳しい決算となっている会社もありますが、建設関連業界全体としては、豊富な手持ち工事を順調に消化して非常に高い業績を実現しています。

今後についても、第3、第4四半期に大型の工事案件が完成時期を迎える会社も多く、建設技術者への人材需要がさらに高まっていくのではないかと考えられますが、建設技術者の有効求人倍率は2019年9月で6.89倍(前年同月比0.49ポイント増)と高水準が続いており、依然として建設技術者の確保は大きな課題になりそうです。



会社概要

ヒューマンタッチ株式会社

- 代表者:代表取締役 高本 和幸
- 所在地:東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1F
- 資本金:1億円
- コーポレートサイト URL:<https://human-touch.jp/>
- ヒューマンタッチ総研サイト URL:<https://kensetsutenshokunavi.jp/souken/>

<このレポートに関するお問い合わせ>

ヒューマンタッチ株式会社 ヒューマンタッチ総研担当
TEL:03-6872-1027 E-mail: htsouken@athuman.com

<このリリースに関するお問い合わせ>

ヒューマングループ 広報担当:外川まで
TEL:03-6846-8002 FAX:03-6846-1220 E-mail: kouhou@athuman.com